

ステントグラフトの曲げ性試験

キックなどの防止に必要となる曲げ性を測定いたします。

測定技術の概要

ステントグラフトとは、人工血管にステントを取り付けた医療機器で、その曲げ性能を把握することは重要です。当社では、ステントグラフトの一端を掴んだ状態で、他端を円弧に沿って回転させた際の曲げ角度ー曲げ荷重曲線から、最大曲げ荷重や単位角度当りの荷重等の曲げ性を評価いたします。ステントの径が小さい場合は、3点曲げ試験や片持ち支持試験を実施いたします。試験治具や試験条件は、JIS T0401「ステントグラフトの機械的試験方法」に準拠します。

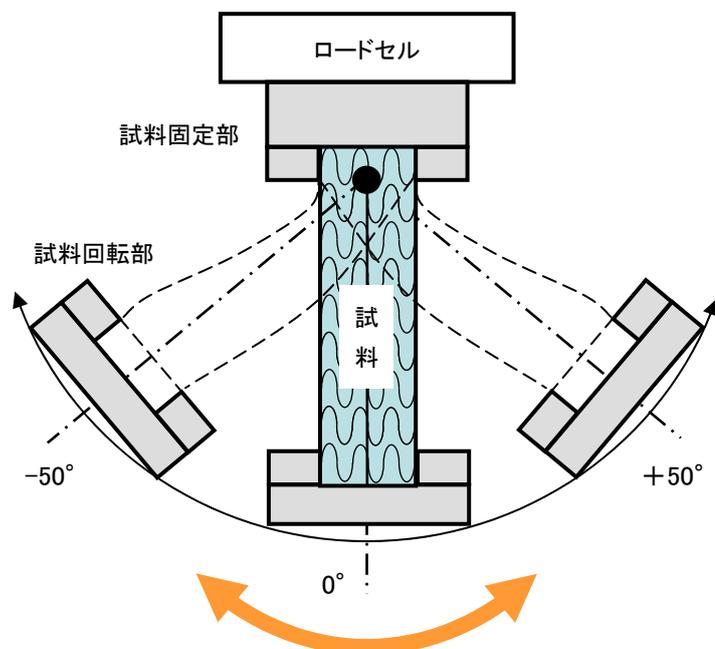
【試験概要】

試験体	ステントグラフト、ステント*
試験規格	JIS T0401「ステントグラフトの機械的試験方法」
試験環境	大気中
試験方法	静的試験
最大荷重	250N
最大曲げ角度	±50度*

* ご相談ください。

ステントグラフトの曲げ性試験概略図

曲げ試験



小径(≦φ20)用曲げ試験

